

サッカー部春季青森遠征

3月16日(土)～3月17日(日)に1泊2日の日程で青森遠征に行きました。

3月16日(土)in 八戸市

八戸学院大学のグラウンドで、八戸光星学院高校と練習試合を行いました。



季節外れの雪のため、サッカーコート全面を使つての試合はできませんでしたが、八戸学院大学サッカー部の皆さん、光星学院高校のサッカー部の皆さんが早朝から雪かき作業を行ってくださったおかげで、7対7のゲーム形式で6試合を行うことができました。

普段の練習では経験できない当たりの強さを体感し、日ごろからの地道なトレーニングの重要性を改めて気づかされた一日となりました。

3月17日(日)in 青森市

選手権大会全国優勝の青森山田高校に行ってきました。

30分×2本、20分×1本の計3試合を行いました。



フルサイズの人工芝のグラウンドで、対戦することができ、言葉では表せない経験ができました。プレー面ではもちろんのこと、ピッチ外の行動やウォームアップの仕方なども大変勉強になりました。

「こんなに30分が長いと感じたことはなかった」「経験したことないあたりの強さだった」と、選手たちが口々に語る様子から、青森山田高校の強さが異次元であることが伝わってきました。

試合は、圧倒的に攻められる時間が多かったですが、中部

高校サッカー部の課題の一つであった「コーナーキックからの守備」を徹底して練習することができました。課題もたくさん見つかりましたが、日ごろの練習の成果を発揮できた場面もあり、やってきたことに対する自信も深めることができました。

3月末から開催される春季フェスティバルでは、本遠征で学んだことを十分発揮したいと思います。

